

秋田市食品ロス実態調査報告書

令和2年1月8日版

1 実施概要

■実施日時	令和元年11月28日（木）29日（金）
■作業場所	秋田市総合環境センター 旧焼却棟ステージ
■作業時間	8:30～17:00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業体制	秋田市職員のべ13名（地域別家庭ごみ組成調査） 女性作業員のべ6名（地域別家庭ごみ組成調査） 受託業者男性のべ6名（食品ロス調査）
■調査試料	<ul style="list-style-type: none"> ・同調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。 ・調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央地区、東部地区、西部地区、南部地区、北部地区、河辺・雄和地区の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【11月28日】 中央地区（檜山11袋）、東部地区（東通り10袋）、西部地区（新屋元町又は日吉町5袋）、南部地区（御所野8袋）、北部地区（下新城野6袋、金足6袋）、河辺・雄和地区（河辺4袋） 【11月29日】 中央地区（川尻6袋、大町6袋）、東部地区（添川4袋、旭川4袋）、西部地区（新屋勝平町6袋）、南部地区（上北手8袋）、北部地区（飯島12袋）、河辺・雄和地区（雄和4袋） ・調査試料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg～150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約190kgとした。

2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

(1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

(2) 作業内容

- ・調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物（生ごみ）の重さを計量した。
- ・食品廃棄物のうち、手つかず食品（100%残存・50%以上残存・50%未満）と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・手つかず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

3 調査結果

(1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表 1）、6 地区の 100 袋の合計重量は 415.6kg、1 袋あたりの平均重量は約 4.2kg であった。地域別に見ると、①中央地区は 23 袋で 101.9kg、②東部地区は 18 袋で 64.5kg、③西部地区は 11 袋で 40.6kg、④南部地区は 16 袋で 75.1 kg、⑤北部地区は 24 袋で 96.4 kg、⑥河辺・雄和地区は 8 袋で 37.1 kg であった。

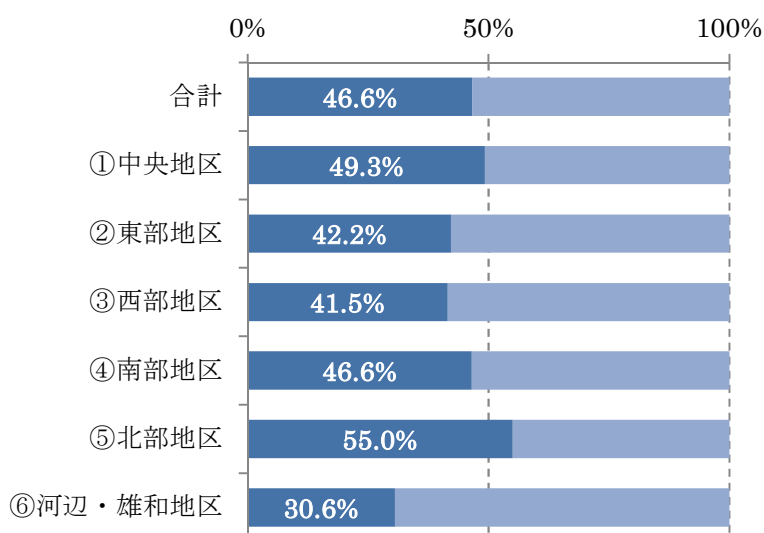
図表 1 調査対象とした試料概要（秋田市）

	袋数(個)	重量 (kg)	容量 (L)	袋あたり	
				重量 (kg)	容量 (L)
合計	100	415.64	3,505	4.2	35.1
① 中央地区	23	101.94	760	4.4	33.0
② 東部地区	18	64.51	605	3.6	33.6
③ 西部地区	11	40.57	440	3.7	40.0
④ 南部地区	16	75.07	530	4.7	33.1
⑤ 北部地区	24	96.41	825	4.0	34.4
⑥ 河辺・雄和地区	8	37.14	345	4.6	43.1

※合計は、6 地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表 2）、6 地区の合計では 46.6%、地域別に見ると⑤北部地区が最も高く 55.0%、次いで①中央地区の 49.3%、④南部地区の 46.6%、②東部地区の 42.2%、③西部地区の 41.5%、⑥河辺・雄和地区の 30.6%となっている。

図表 2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



(単位:kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C(=B/A)	食品廃棄物以外 D(=1-C)
合計	415.64	193.69	46.6%	53.4%
①中央地区	101.94	50.22	49.3%	50.7%
②東部地区	64.51	27.25	42.2%	57.8%
③西部地区	40.57	16.85	41.5%	58.5%
④南部地区	75.07	34.96	46.6%	53.4%
⑤北部地区	96.41	53.06	55.0%	45.0%
⑥河辺・雄和地区	37.14	11.35	30.6%	69.4%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

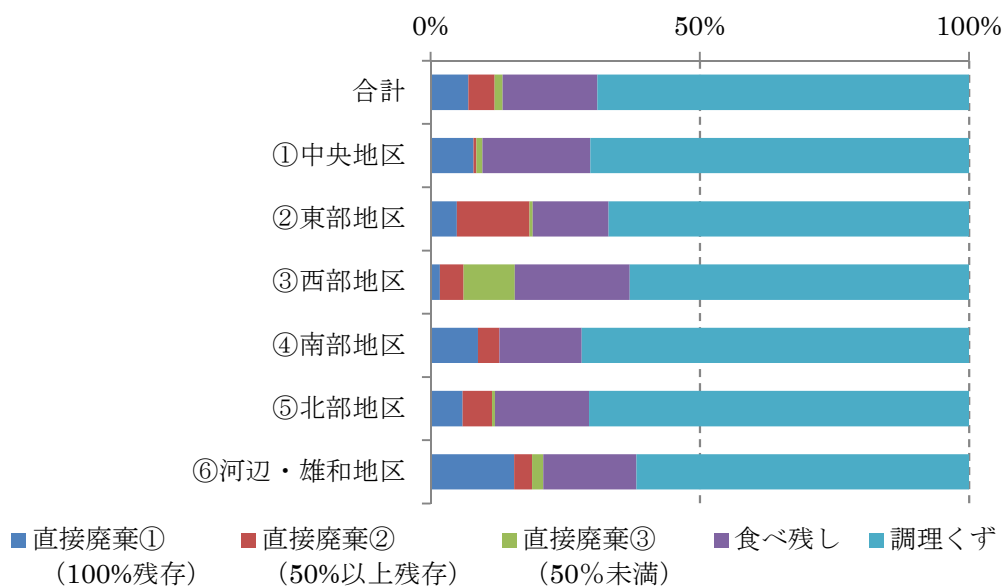
食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表 3）、6地区の合計では 28.6%、地区別に見ると③西部地区が最も高く 35.5%、次いで⑥河辺・雄和地区の 35.2%、②東部地区の 31.9%、①中央地区の 27.2%、④南部地区の 26.6%、⑤北部地区の 26.0%となっている。地区ごとに食品ロスの割合は異なり、③西部地区の食品ロスの割合は、⑤北部地区よりも 9.5 ポイント多い。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち 6.5%を占めており、⑥河辺・雄和地区で 14.3%と高く、次いで④南部地区が 8.3%、①中央地区が 7.3%、⑤北部地区が 5.3%、②東部地区が 4.7%、③西部地区が 1.6%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計では 16.2%、③西部地区が 20.5%と高く、次いで、①中央地区の 18.3%、②東部地区が最も低く 13.6%となっている。

図表 3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	28.6%	6.5%	4.5%	1.4%	16.2%
①中央地区	27.2%	7.3%	0.5%	1.0%	18.3%
②東部地区	31.9%	4.7%	13.0%	0.6%	13.6%
③西部地区	35.5%	1.6%	4.3%	9.1%	20.5%
④南部地区	26.6%	8.3%	3.8%	0.0%	14.5%
⑤北部地区	26.0%	5.3%	4.8%	0.5%	15.4%
⑥河辺・雄和地	35.2%	14.3%	3.1%	1.9%	15.9%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

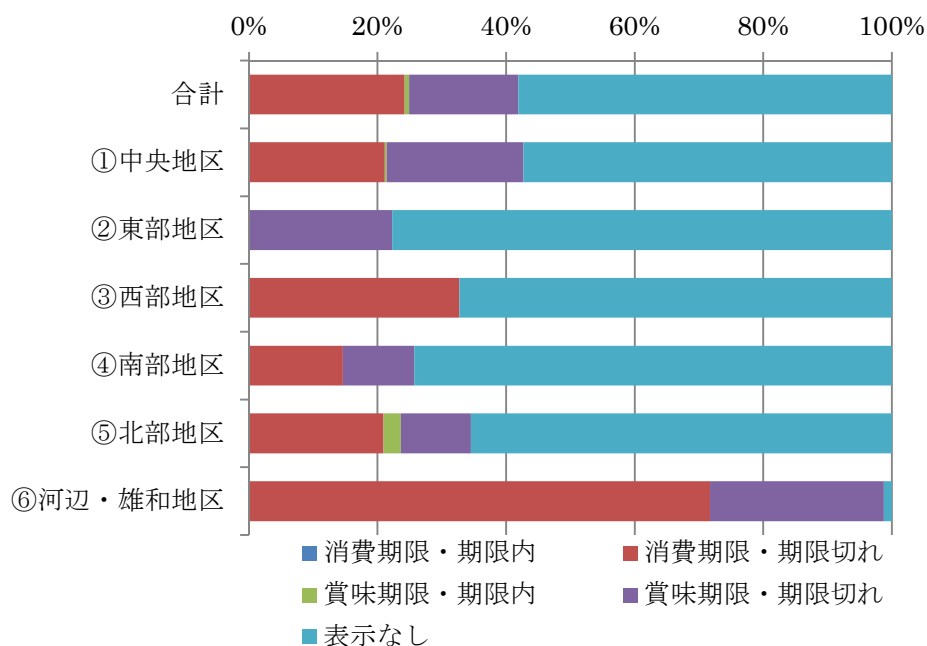
(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計では「表示なし」が最も多く58.1%であり、消費期限の表示があったものは24.2%（期限切れのみ）、賞味期限の表示があったものは17.7%（期限内が0.7%、期限切れが17.0%）となっている。

消費期限に着目すると、全ての地区で「期限切れ」のもののみで、⑥河辺・雄和地区が71.7%と割合が最も高く、④南部地区が14.6%と最も少なかった。なお、②東部地区は、消費期限記載の直接廃棄（100%手付かず）が確認されなかった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち0.7%、地区別に見ると⑤北部地区が最も高く2.7%となっている。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	24.2%	0.7%	17.0%	58.1%
①中央地区	0.0%	21.1%	0.3%	21.3%	57.3%
②東部地区	0.0%	0.0%	0.0%	22.3%	77.7%
③西部地区	0.0%	32.7%	0.0%	0.0%	67.3%
④南部地区	0.0%	14.6%	0.0%	11.1%	74.3%
⑤北部地区	0.0%	20.9%	2.7%	10.9%	65.5%
⑥河辺・雄和地区	0.0%	71.7%	0.0%	27.1%	1.2%

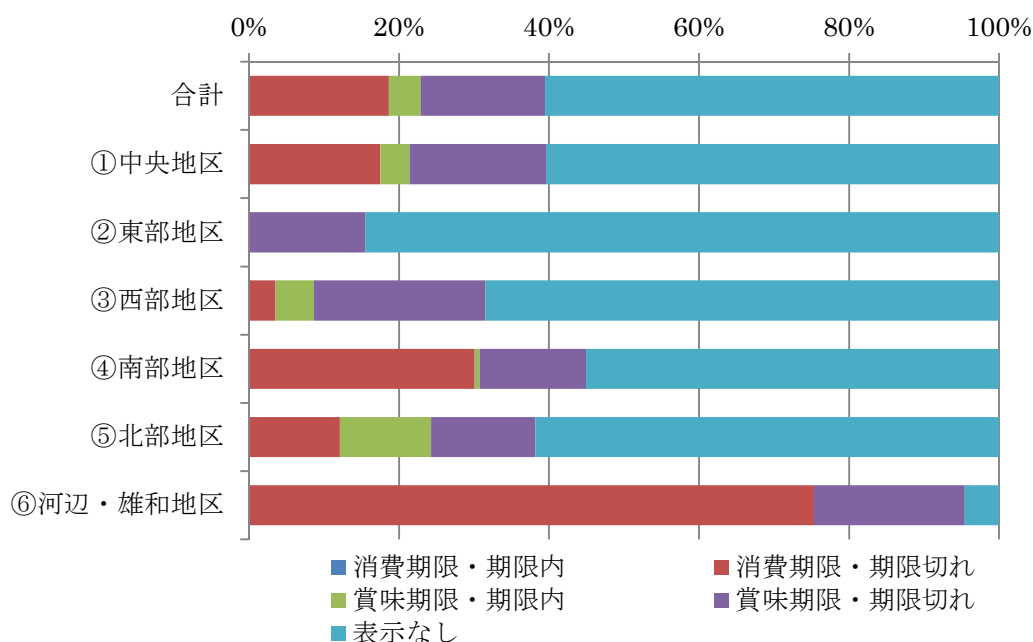
※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「表示なし」が最も多く60.5%であり、消費期限の表示があったものは18.6%（全て期限切れ）、賞味期限の表示があったものは20.8%（期限内4.2%、期限切れ16.6%）となっている。

消費期限に着目すると、全て「期限切れ」で、⑥河辺・雄和地区が75.3%と最も多く③西部地区が3.6%と最も少なく、②東部地区は、消費期限記載の直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が確認されなかった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち4.2%、地区別に見ると⑤北部地区が最も高く12.1%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	18.6%	4.2%	16.6%	60.5%
①中央地区	0.0%	17.5%	4.0%	18.2%	60.4%
②東部地区	0.0%	0.0%	0.0%	15.5%	84.5%
③西部地区	0.0%	3.6%	5.1%	22.9%	68.4%
④南部地区	0.0%	30.1%	0.7%	14.2%	55.1%
⑤北部地区	0.0%	12.1%	12.1%	13.9%	61.8%
⑥河辺・雄和地区	0.0%	75.3%	0.0%	20.1%	4.6%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、平成30年度の実績を参考に一人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると66.6g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が28.8g/人・日、食べ残しが37.8g/人・日と推計された。

図表6 一人1日あたりの食品ロス発生量（秋田市）

